

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	573 登記事務事業					
予算科目	01-080101-13 登記事務に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	道路用地係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
根拠法令等	不動産登記法					

## 事業の概要

対象	市民等
目的	道路拡幅業務に伴う用地買収、未登記処理等の様々な登記を行う。
概要 (取組内容)	取得した道路用地の登記処理（分筆、所有権移転、地目変更等）を行う。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	9,207	7,909	7,624	7,791	
	決算額	(千円)	6,550	7,225	6,937	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,550	7,225	6,937	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,233	4,824	5,599	7,686	7,686	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.70	0.80	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	66.00	25.90	54.30	69.50	69.50
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	嘱託登記申請数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	488.0	507.0	360.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	分筆・所有権移転・その他登記の申請数の合計とする。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	用地買収に要する幅広い知識習得のため、登記研修及び税務研修等に参加した。 令和3年度登記件数360件のうち未登記は、16筆の調査・測量、8筆の分筆・所有権移転登記を行った。 賃借契約中の土地のうち3筆の買収を行った。	
成果	地権者との調整に時間を要し、用地取得できなかった路線があったが、その他の路線については工事施工前に、用地の取得及び補償の履行を行い遅滞なく工事に着手する状況を提供できた。 未登記案件を適正に処理した。	
課題	業務	計画的な道路用地買収のため、事前の調査を綿密に行う。 引き続き賃借地の買収に努める必要がある。
	組織、予算等	用地取得・補償から登記まで、専門性を要し、かつ、幅広い知識の習得が必要である。
改善目標	関連部署と綿密な事前調査を行い、円滑な用地買収に努める。 民法改正に付随した民事関連法規の知識の習得に注力し、係内の業務知識の底上げを図る。 未登記案件の適正な処理実行。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	578 道路新設改良事業					
予算科目	01-080202-11 道路新設改良に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法 等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民等
目的	未改良の生活道路を改良し、道路としての機能を高め、道路網の整備を図ることにより市域の土地利用、経済活動を活性化し、地域社会の環境を改善する。
概要 (取組内容)	地元要望を踏まえ、一定の基準の下に必要性を評価し、生活道路の整備を行う。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	1,334,242	827,955	806,449	913,900	
	決算額	(千円)	906,144	815,514	554,636	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	223,414	213,094	99,183	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	682,730	602,420	455,453	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	22,319	42,875	45,673	45,134	45,134	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.00	6.00	6.40	6.30	6.30
		正職員時間外勤務	(時間)	800.00	845.60	796.90	856.50	856.50
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	市道の改良率 ( % )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	58.7	59.2	59.4	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市道の総延長に対し、道路の規格を改良した割合						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	前年度より予算が減額されたなかでも各地区における事業の緊急性等を考慮し、概ね計画通り工事を実施した。	
成果	計画的に改良整備を実施することにより、安全で円滑な交通を確保することができた。	
課題	業務	年度内完成を目指し早期発注をしたが、地権者および関係機関との調整、電柱移転の遅れ等により一部が繰越事業となってしまうている。
	組織、予算等	近年、予算が減少していくなか地元からの要望に対して、いかに対応していくか課題である。
改善目標	繰越事業を減らすため、早期発注に向けた関係機関等との事前協議を計画的・効率的に実施していく。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	579 緊急地方道整備事業					
予算科目	01-080203-11 緊急地方道整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民等
目的	地域住民より強い延伸要望があり、延伸整備により交通分散化を図り通学者及び地域住民の安全を確保するため。
概要 (取組内容)	現一級幹線市道を一般県道館野牛久線から国道408号まで延伸整備する事業である。 ・市道1-71号線整備事業 L=852m

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	107,801	44,726	85,688	54,802	
	決算額	(千円)	102,439	39,498	2,488	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	45,890	30,997	2,488	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	56,549	8,501	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	23,304	3,541	4,214	4,285	4,285	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.00	0.50	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	1,200.00	57.30	46.80	76.10	76.10
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	改良整備率 ( % )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	60.0	60.0	60.0	70.0	90.0	100.0
	実績	58.0	58.0	58.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市道1-71号線の総延長に対し改良した割合						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	早期供用開始のためには財源の確保が課題となっていたため、茨城県と協議を行い補助金の確保が出来るように調整を行った。	
成果	今年度実施予定箇所の工事を発注することが出来た。	
課題	業務	年度内完成を目指し早期発注したが、軟弱地盤対策の工法検討に時間を要したことにより繰越となってしまった。
	組織、予算等	財源である補助金の確保が課題である。
改善目標	年次計画に基づき整備を進め、早期全線供用開始を目指す。 引き続き茨城県と協議して補助金の確保に努める。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	580 河川整備事業					
予算科目	01-080301-12 河川整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	工務係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	河川法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民等
目的	台風・大雨等による河川の氾濫、土砂崩れを最小限に食い止め、適切な防災対策を行い、住民被害の軽減を図る。
概要 (取組内容)	集中豪雨、台風等の際し、八幡川の洪水や安全性を向上させるため、護岸等の整備を進める。 ・八幡川河川改修事業 L=1,100m

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	216,325	130,894	35,775	81,700	
	決算額	(千円)	37,441	71,344	109,887	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	10,741	22,944	19,487	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	21,400	48,400	90,400	0	0
		その他	(千円)	5,300	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,241	3,609	3,653	2,204	2,204	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.75	0.50	0.50	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	84.80	97.10	63.00	63.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	河川の改修整備率 ( % )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	20.0	30.0	50.0	60.0	80.0
	実績	10.0	10.0	18.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	八幡川河川の未改修区間の整備率						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	難航地権者と交渉を重ねたことで用地取得が可能となり、河川改修事業を進めることができた。	
成果	改修工事を実施することにより、河川の氾濫や増水に対する安全性を高めた。 用地買収3筆および物件移転補償の履行1件が完了した。	
課題	業務	近年の異常気象等による河川の氾濫や増水により護岸の破損等が懸念される状況にあるため、早急に対応する必要がある。また、パイプライン移設や下水道切廻し等関係機関との協議で計画に影響が出る可能性がある。
	組織、予算等	災害予防の観点から早急に事業を進める必要があり、計画的な予算確保が必要。
改善目標	今後の整備計画に影響が想定される関係機関との協議を早急に進める。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—



# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	582 街路整備事業					
予算科目	01-080402-11 街路整備に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約	45			係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民等
目的	市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	都市再生整備計画に基づき、街路灯整備及び歩道改修を実施している。また、防災安全交付金事業による通学路整備として、歩行者通行帯及び自転車レーン整備を実施するとともに、無電柱化整備として電線共同溝の整備を進めている。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	644,607	679,517	579,282	460,324	
	決算額	(千円)	353,771	434,504	411,624	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	89,631	29,929	29,572	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	264,140	404,575	382,052	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	20,779	14,892	13,067	13,067	13,067	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.90	2.10	1.80	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	450.00	248.90	315.10	315.10	315.10
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	街路灯設置工事の整備延長 ( m )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	921.0	1,836.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	実績	1,387.6	1,467.0	316.2	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	側溝入替工事の整備延長 ( m )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,626.0	604.0	1,409.0	2,350.0	1,870.0	1,820.0
	実績	696.2	931.0	1,249.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	—					
3	指標名	自転車通行帯整備工事の整備延長 ( m )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1,723.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	—					
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	歩行者通行帯整備については「通学路交通安全プログラム」に位置付けられている路線について重点的に整備を行った。	
成果	街路灯設置、歩道改修及び、歩行者通行帯設置を実施し、安全安心な住環境及び交通環境が整備された。	
課題	業務	歩行者通行帯整備については「通学路交通安全プログラム」に位置付けられている路線を中心に整備を実施しているが、「通学路交通安全プログラム」に位置付けられていない未整備路線も多く、これら路線についても整備を進めていく必要がある。
	組織、予算等	自転車レーンについては、現計画の事業は令和3年度にて完了したが、今後は自転車ネットワーク計画に基づき、関係機関と協議しながら整備路線を検討していく必要がある。
改善目標	歩行者通行帯整備については、「通学路交通安全プログラム」に位置付けられている路線について引き続き整備を実施し、プログラムに位置付けられていない路線についても整備を実施していく。また、自転車レーンについては関係各課等と検討を行い、整備路線の検討をしていく。	

### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続
理由	—

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	584 上河原崎・中西地区スマートIC設置事業（（仮称）つくばスマートIC）					
予算科目	01-080412-11 圏央道推進に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	事業調整係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民等
目的	つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理事業を含む地域の活性化、つくば市整備地域における企業活動の活性化、高速道路利用圏域の拡大、観光振興の支援及び災害時における防災機能の強化を図る。
概要 (取組内容)	（仮称）つくばスマートICは、平成29年7月に新規事業化箇所を選定後、東日本高速道路（株）と基本協定を締結し、路線測量、土工詳細設計、用地測量、土地評価算定業務等を実施してきた。 現在、用地買収を進めており、買収後は速やかに工事に着手する。 早期の供用開始に向けて国・関係機関と連携を図りながら、東日本高速道路（株）とともに事業を進めている。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	383,526	275,761	664,230	366,587	
	決算額	(千円)	102,708	116,220	105,936	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,644	162	12,304	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	88,661	108,284	92,015	0	0
		その他	(千円)	8,403	7,774	1,617	0	0
人件費	人件費計	(千円)	17,664	20,140	14,713	14,713	14,713	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.35	2.90	2.10	2.10	2.10
		正職員時間外勤務	(時間)	700.00	171.40	148.70	148.70	148.70
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	事業進捗率（R3事業費見直しに伴い指標2へ移行）（ % ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17.7	32.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費795,600千円（支出額 H29：6,381千円※R3修正、H30：32,280千円※R3修正、R1：102,493千円、R2：116,220千円）					

2	指標名	事業進捗率 (R3事業費見直し後)					( )
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	25.8	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市の負担する計画時点の事業費に対し、支出した割合⇒事業費1,410,000千円(支出額 H29:6,381千円、H30:32,280千円、R1:102,493千円、R2:116,220千円、R3:105,936千円)					
3	指標名						( )
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						( )
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						( )
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	茨城県、ネクスコ東日本と、協議が難航している各課題について、引き続き協議を重ねた。難航地権者とは交渉を継続したが、合意に至る可能性が低いと判断し線形変更を行った。					
成果	茨城県、ネクスコ東日本との間で協議が難航していた各課題は、それぞれが建設的な協議調整を深めることで解決に至った。本線南側の線形変更に係る関係機関との協議を整え、事業計画を変更することで、取得難航用地の課題を解決することができた。					
課題	業務	(仮称)つくばスマートICの整備に伴う排水管等の埋設物の管理や、供用開始後の維持管理について、関係機関との協議を整える必要がある。また、県道交差点の改良等、令和5年度着工の市直営工事について、ネクスコ東日本等と工事工程の調整を図る必要がある。				
	組織、予算等	今後の工事施工段階において、想定外の対策工事等が必要になった場合は、事業費が増加する可能性がある。				
改善目標	令和5年度の市直営工事の着工に向け、ネクスコ東日本が施工するスマートIC工事との工程等のすり合わせを早期に行い、円滑な事業執行を図る。					

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	980 橋梁長寿命化修繕・耐震補強事業					
予算科目	01-080201-12 橋梁に要する経費			担当部課	建設部道路整備課	
市長公約				係名	街路係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路法等			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

## 事業の概要

対象	市民等
目的	老朽化した橋梁について、橋梁長寿命化計画に基づく長寿命化修繕等を実施することにより、市民が快適で安全・安心を実感できるような都市基盤の整備を図る。
概要 (取組内容)	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の修繕・補修工事を実施するとともに、阪神淡路大震災以前の耐震基準の橋梁に対し、耐震補強工事を実施する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	257,264	181,461	209,543	127,741	
	決算額	(千円)	21,961	202,660	140,883	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,384	13,026	16,687	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	19,577	189,634	124,196	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,709	9,162	13,104	13,104	13,104	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.90	1.30	1.80	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	333.29	131.10	330.10	330.10	330.10
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

## 指標の推移

1	指標名	長寿命化修繕工事 ( 橋 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	2.0	3.0	4.0	2.0	3.0
	実績	1.0	3.0	4.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	長寿命化修繕工事が完了した橋梁数						

2	指標名	耐震補強工事 ( 橋 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	実績	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	耐震補強工事が完了した橋梁数					
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	常磐自動車道跨道橋の長寿命化、耐震補強事業の工事委託について、NEXCOに打診したが今後の工事計画を茨城県と調整中であるとのことから、令和4年度の発注は見送ることとなった。今後も工事委託の打診を継続していく。	
成果	長寿命化修繕計画に基づき、北陸橋、下広岡橋、姥久保橋、講和橋の工事を完了させたことにより、車両及び歩行者の安全な通行を確保することができた。	
課題	業務	河川橋は、渇水期施工のため、適正工期を確保する。 常磐自動車道跨道橋は、耐震性能の基準を満たすための補強等の実施が必要であり、当該工事は高速道路管理者であるNEXCOへの委託（協定）が必要となる。
	組織、予算等	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、つくば市が管理する数多くの橋梁が対象となるため、経年劣化による修繕が必要な橋梁数が増加の見込みである。
改善目標	河川橋の補修は、適正工期を確保するため発注時期を早める。常磐自動車道跨道橋の耐震補強は車線規制や他工事間調整が円滑に行えるNEXCOへの発注が必要なため、委託の打診を継続して進めていく。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

### 方向性

方向性	継続	
理由	—	